




2019年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」 事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
- II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
- III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
- IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
- V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【 宮城県 】

学校名【美里町立不動堂中学校】

1 実践テーマ	I, II, III, V
2 実施対象者	美里町立不動堂中学校 全校生徒230名 第1学年生徒の保護者
3 展開の形式	<p>(1) 学校における活動</p> <p>①教科名 ()</p> <p>②行事名 (スポーツボランティア講演会)</p> <p>③その他 (授業参観, 学年親子行事)</p> <p>(2) 地域における活動</p> <p>①イベント名 ()</p> <p>②その他 ()</p>
4 目標 (ねらい)	オリンピック・パラリンピック・ムーブメント事業での実践を通して、他者を理解し、自己の役割を自覚して、思いやりをもって人と接することのできる生徒を育む。
5 取組内容	<p>1 シットティングバレーボール体験学習</p> <p>7月5日(金)、1学年の授業参観・学年親子行事において、宮城県のシットティングバレーボールチームである「第二塩化リゾチーム」のメンバーを講師として招き、シットティングバレーボールを行った。ルールやプレーの仕方を教えてもらい、その後試合を行った。学級対抗や親子対抗の試合を通して、パラリンピックの競技や身体障害者の立場についての理解を深めることができた。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">  </div> <p>2 スポーツボランティア講話</p> <p>7月11日(木)に、仙台市の市民スポーツボランティア「SV2004」の代表理事である泉田和雄さんを講師として、スポーツボランテ</p>

	<p>ィアに関する講話が開かれた。講話の中では、仙台・宮城のスポーツボランティアの紹介から始まり、スポーツボランティアの楽しさ、東京オリンピック・パラリンピックに向けて自分たちにできることなどについて話していただいた。</p>  <p>3 オリンピック・パラリンピック特設コーナーの設置</p> <p>本校1階の中央廊下にオリンピック・パラリンピック特設コーナーを設置した。そこでは、オリンピック・パラリンピックの歴史や競技を紹介するポスターやプリントを掲示した。</p> 
6 主な成果	<p>○シッティングバレーボール体験学習</p> <p>パラリンピック競技に対する興味や関心を高められただけでなく、「身体障害者の立場を理解できた」という生徒の感想も見られ、自分とは異なる立場に思いを馳せることができた。</p> <p>○スポーツボランティア講話</p> <p>スポーツボランティアへの関心を高めることができた。中には、オリンピック・パラリンピックの宮城県都市ボランティアに応募した生徒もあり、今後の研修で積極的に交流したいという感想もあった。</p> <p>○特設コーナー</p> <p>オリンピック・パラリンピックの競技に関する情報を興味津々に見ている生徒もあり、興味・関心を高められた。</p>
7 実践において工夫した点	<p>実際に競技を体験させたり、ボランティアを行っている方の講話を聞かせたりしたことで、オリンピック・パラリンピックに対する理解をより深められるようにした。また、体験学習では生徒だけではなく、保護者にも参加してもらうことで、保護者のオリンピック・パラリンピックへの興味・関心も高められるようにした。</p>
8 主な課題等	<p>シッティングバレーボール体験は他学年からもやってみたいという声があったので、できるだけ多くの生徒がパラリンピック競技に触れる機会を得られるように、実施方法を検討していく必要がある。</p> <p>また、各教科や領域との連携を図り、普段の学校生活の中で学んだことを生かす取組や指導を行うなど、継続した指導の必要がある。</p>
9 来年度以降の実施予定	<p>○オリンピック・パラリンピックコーナーを継続し、情報を発信する。</p> <p>○目標とする生徒の姿の具現化のために、身近なボランティア活動を設定する。</p>